

リアゲートボックス JB23/JB33/JB43 取扱説明書

この度は商品をご注文いただきありがとうございます。取り付けする前にこちらの取扱説明書を必ずお読みいただき、内容をよく理解して正しく製品をご使用ください。

商品内容

番号	名 称	略 図	数 量
①	ボックス本体		1
②	ボックス側ブラケットA		1
③	ボックス側ブラケットB		1
④	車両側ブラケット		1
⑤	ブラケットプレート(スチール製)		2
⑥	ゴムプレート		4

番号	名 称	略 図	数 量
⑦	ワイヤー式ダイヤルキー		1
⑧	上蓋落下防止用カラビナ	—	2
⑨	六角ボルト M8x35	—	4
⑩	六角ナット M8	—	4
⑪	平ワッシャー M8	—	8
⑫	スプリングワッシャー M8	—	4
⑬	スポンジシート(補修用)※	—	2
⑭	六角ボルト M6x15	—	2
⑮	平ワッシャー M6	—	2
⑯	スプリングワッシャー M6	—	2

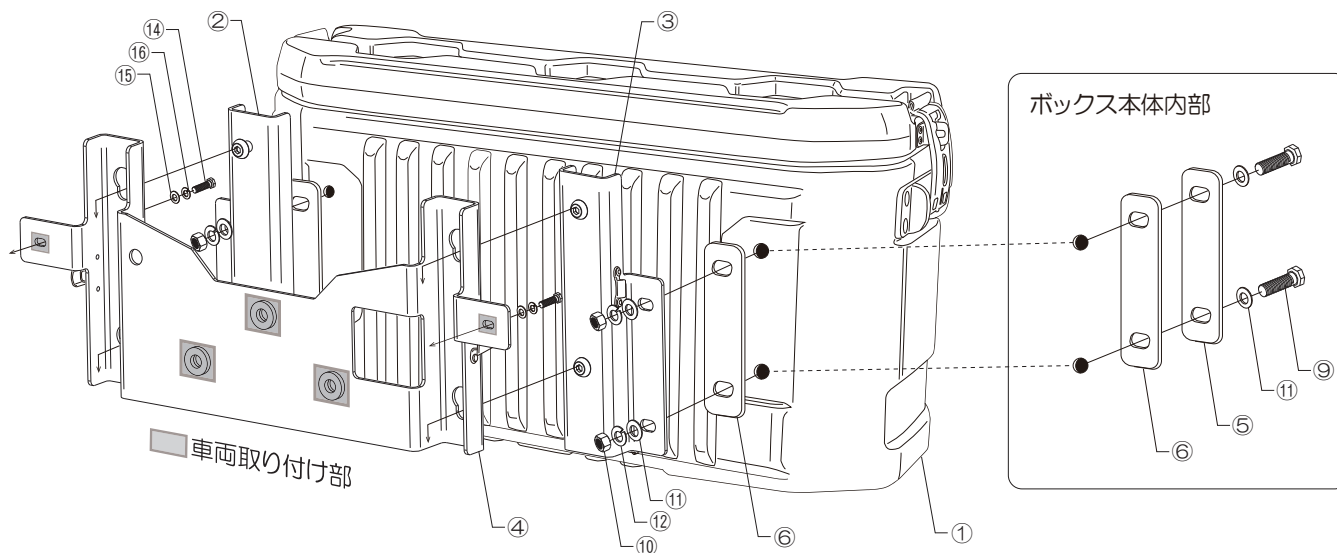
※スポンジシート(補修用)はブラケット同士の合わせ面のスポンジが劣化した際に使用します。

適合車種

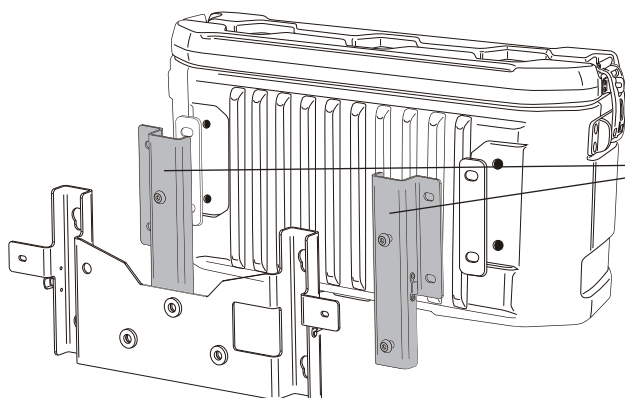
スズキ ジムニー JB23/ジムニーワイド JB33/ジムニーシエラ JB43

取り付け構造図

ナンバープレートがリアバンパーに装着されている車両(Loポジション)



ナンバープレートがバックドアに装着されている車両(Hiポジション)



ボックス側ブラケットAとBを入れ替え、上下の向きを変えて装着します。

作業を始める前に

ナンバープレートがバックドア左下に移設されている車両の場合、当製品をHiポジションで装着することによりナンバープレートの視認性を確保することが可能です。

ただし、ナンバープレートの移設位置によっては視認性の確保が不十分だったり、当製品との干渉により併用ができない場合があります。

警察への確認によると、視認性の確認方法について確認位置などの明確な規定はありませんが、常識的な範囲において車両の真後ろから見た際に、ナンバープレートの文字が隠れずに確認できることが求められています。

必ず当製品装着後にナンバープレートの視認性が確保できていることを確認してください。

仮にナンバープレートの視認性が確保できていない場合は、ナンバープレート位置の変更作業を実施してください。

※ナンバープレート移設時にはテールランプに重ならないこと等、その他の法規にもご注意ください。



基準を満たしたナンバー移動先の例

⚠ 重要

バックドアへのナンバー移設車両と併用する場合は作業完了後、必ずナンバープレートの視認性に問題がないことを確認してください



Hiポジション完成イメージ



Loポジション完成イメージ

取り付け手順

1 ボックス本体とブラケットの取り付け

① ボックス本体にボックス側取り付けブラケットを取り付けます。ボルトは全て締めきらず、仮締めの状態にします。

POINT ボックス本体の蓋を開けて作業してください。
ボックス側ブラケットの取り付け向きによりボックス本体の固定高さが異なります。
車両状況にあったブラケットの向きを確認して取り付けをおこなってください。(P1構造図参照)



※Loポジションで使用する場合のブラケット向き

- [使用パーツ] ①ボックス本体 x1
②ボックス側ブラケットA x1
③ボックス側ブラケットB x1
⑤ブラケットプレート x2
⑥ゴムプレート x4
⑨六角ボルト M8x35 x4
⑩六角ナット M8 x4
⑪平ワッシャー M8 x8
⑫スプリングワッシャー M8 x4

2 車両側ブラケットの取り付け

① 車両バックドアに装着されている純正のスペアタイヤとスペアタイヤブラケット、スペアタイヤ当てゴムを取り外します。

POINT スペアタイヤブラケットを固定していたボルトは再利用します。

② 純正スペアタイヤブラケットが固定されていた上部取り付け穴3箇所と当てゴムが固定されていた取り付け穴を利用して車両側ブラケットをバックドアへ取り付けます。

POINT スペアタイヤブラケットを固定していた純正ボルトは再利用して固定してください。

③ ブラケットが車体に対して垂直になる位置でボルトを本締めします。(純正M10ボルト締付けトルク:57N・m)

- [使用パーツ] ③車両側ブラケット x1
⑭六角ボルト M6x15 x2
⑮平ワッシャー M6 x2
⑯スプリングワッシャー M6 x2



3 車両にボックス本体を装着する

①車両側ブラケットの穴にボックス側ブラケットのピンを上から下にスライドさせてボックス本体をバックドアへ装着します。

POINT 仮止め状態のボックス側ブラケットの位置を調整して装着してください。



②ピンがしっかり下まではまり込んでいることを確認してボックス側ブラケットを固定するボルトを本締めします。

注意 本締め後、ボックス本体がスムーズに車体から取り外せることを確認してください。取り外しが困難な場合はボックス側ブラケットの固定ボルトを緩め、ブラケットの角度を調整してください。



③ステーに固定されている左右のパッチン錠をロックします。



④落下防止のため、左右いずれかのパッチン錠の穴に付属のワイヤー式ダイヤルキーを取り付けます。※ワイヤー式ダイヤルキーは片側のみ1個の装着になります。

POINT 走行時にワイヤー式ダイヤルキーがバックドアと干渉する場合はダイヤルキー本体が上側になるように(右図参照)設置してください。



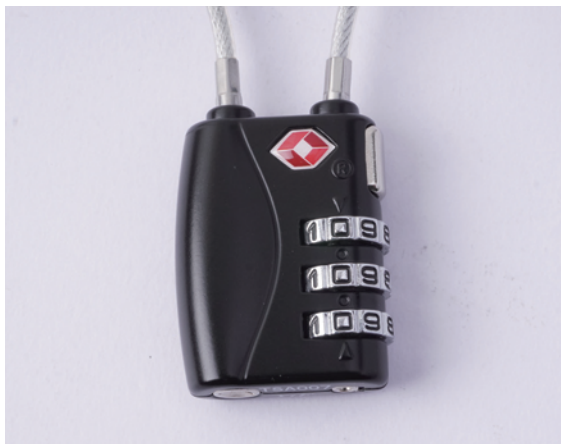
⑤上蓋を閉めて左右ロック部分に付属の上蓋落下防止用カラビナを装着してください。

4 最終チェック

- ①各箇所のボルトに緩みがないこと、ボックス本体がバックドアにしっかり固定されていることを確認して作業終了です。

その他付属部品の取り付け、使用方法

ワイヤー式ダイヤルキー（解錠番号の変更方法）



- ①解錠番号に数字を合わせます。
(出荷時の解錠番号:0-0-0)



- ②シャープペンシルの先端など細い部分を利用して底面のスイッチを奥まで押し込みます。



- ③底面のスイッチを押したまま、ダイヤルを希望の番号に変更します。変更が完了したら押しているスイッチを離します。



- ④指定した番号で施錠、解錠が正しく反応することを確認して変更作業終了です。

⚠ 製品のご使用について

- 運行前に必ず製品がしっかり固定されていることを確認して、製品の落下防止に努めてください。
- 製品の取付後は定期的な増し締め作業を行なってください。●製品を装着したまま洗車機を使用しないでください。
- ボックス本体が汚れた場合、水洗いまたは湿らせた布で拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合には、ぬるま湯と少量の中性洗剤を含ませた柔らかな布で拭き取ってください。
- 商品の装着にはスペアタイヤの取り外しが必要になります。取り外したスペアタイヤとブラケットは大切に保管していただくと共に、別途お客様にてパンク修理剤等のタイヤトラブル対策をご準備ください。
- ボックス内は完全防水ではありません。激しい雨や洗車時には蓋の隙間等から浸水する可能性があります。濡れてはいけない荷物の積載にはご注意ください。
- ボックスは盗難防止のための鍵を装着できるデザインですが、南京錠等の鍵は付属していません。施錠をご希望のお客様は別途南京錠等を2個ご用意ください。●上蓋左右のロック機構が多少緩い場合があります。通常走行時に外れる緩さではありませんが、オフロード走行等激しく車体が揺れるシチュエーションでは南京錠等の施錠機構を併用してください。